

2023年4月度全国法定伝染病情報

环球网 china.huanqiu.com 2023-05-25 15:21 来源:北京日报客户端

5月25日、国家疾病管理局が2023年4月度の全国法定感染症情報を発表(宮本注:そうはいつでも同局のサイト、中国CDC、天津市CDCなどの衛生当局のサイトでは何も触れられていませんが、最近北京の総本山はまったくサイト上にこの種の情報を出していません)。

2023年4月(2023年4月01日00:00~4月30日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は2,101,158例(前月は4,171,295例;2,070,137人減に転!!)、死亡者数は2,217例(前月は2,393例;176人減に転)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、発症・死亡例報告はなし(甲類についての記述がない)。

B(乙)類伝染病は、SARSやポリオ、ジフテリア、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザとH7N9型鳥インフルエンザで発症・死亡例なし; 新型コロナウイルス感染以外の残21種(コロナは非公表扱いになっています*)については、発症291,128例(前月は307,520例;16,392人減に転)、死亡2,185例(前月は2,354例;169人減に転)が報告されている。報告されている発症データの病種ワースト5は、**ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病およびブルセラ症(前月と同種同順)**で、B類伝染病報告総数の**96%**を占めていた。

2021年から増加していた『ヒト感染高病原性鳥インフルエンザH5N6』は、最近ゼロ状態。

<<COVID-19>>

『新型コロナウイルス感染以外の』という表現が3月度分の月報から使われています。『新型コロナは乙類乙管』、即、乙類感染症を乙類として管理するとした衛生当局ですが、本月報でも『新型コロナ』の欄そのものが削除されていることにご留意ください。

同期、C(丙)類伝染病では、発症数は1,810,030例(前月は3,863,775例なので2,053,745人減に転!)、死亡は32例(前月は39例で7人減に転)であった。発症データの3位までの病種は、インフルエンザ、その他感染性下痢、と手足口病であり、C(丙)類伝染病報告総数の**99.5%**を占めていた。

(H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。)
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2018年2月以後は発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。2019年は4月に内モンゴルと甘肅省境で患者1名が出たが、それ以外はゼロ行進が続いている。**2023年4月も発症・死亡ともに『ゼロ』。**
3. 4月5日に内モンゴル自治区(内モンゴル自治区アルシャー盟エジン旗達来呼布(ダライコボ)鎮)で82歳男性感染者が見つかった(13カ月ぶり!)ので、その数字が反映されています(誤診ではなかったようです!)。2018年2月以後の患者発生が報じられていないため、4月の死亡者も同じ人だと推量可能です。
4. 2018年に入ってからは、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが3月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとするれば、1~5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままですが、5月に、『広東省本年初の患者が回復、まもなく退院(<https://wp.me/p66E1r-2RJ>)』という報道があったため、これが中山市の患者であることは明白、つまり、2名の本年死亡者中の「1名」は、確実に2017年の患者であることがわかりました。
5. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあり、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれませんが。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市场は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
6. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。

7. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省 CDC は単発患者 1 名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
8. 2017 年 1 月からの FluTrackers との情報交換共同作業をする中で、1625 号患者(06 月 15 日発表)まで追いかけることができました(7 月に中側から FAO に発表された 12 人と、12 月 19 日に FAO が発表した累計患者数“1621 人”との差 20 人、それに 2 月 28 日の FAO “発表 1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができずにいます)。WHO への報告主体である衛計委と FAO への報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017 年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然 57 人減じている(死者数も 10 人減!)事実がありますが、衛計委が WHO に「この患者とこの患者は誤報でした」という通知もしていない??? FluTrackers によると、『必ずしもすべての数字が WHO に報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackers は、NHFPCC や省・市の HFPC や HFPB、それに香港 CHP の正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局から FAO への通報、これに基づく FAO の発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っている B 型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所から FluTrackers への情報提供数は、**2017 年 1 月以来 532 本**になりました(as of May. 29, 2023)。
9. 2014 年 1 月に浙江省 HFPC が発表した『確診患者は日々発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『2014-01-27 浙江省の H7N9 鳥フル患者死亡者数発表に関して』をご参照ください。
10. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えています。
2017 年 3 月には湖南省永州市、5 月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6 月に入ってからには陝西省榆林市、内蒙古フフホト市、内モンゴボト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、8 月には安徽省滁州市鳥間、と 9 件が発生しています。
11. 2018 年に入り、3 月 5 日には陝西省銅川市王益区で発生、4 月 5 日には山西省臨汾市、18 日には寧夏回族自治区同心県での発生、5 月 9 日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6 月 1 日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9 に関する PPT に追記しています)。これで 2017 年は 9 件、2018 年は 5 件、合計 14 件目の集団発生となります。一人もヒト感染者が見つからない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が 2 件続けて出ていることが気がかりです。
12. 2019 年 3 月に、遼寧省錦州市で久しぶりの集団発生が報じられ、これで 2017 年から通算 15 件目の集団発生が出た形になりますが、どうも間隔があきすぎており、H7N9 については、本当に消えているのか、消し去られているのか、良く判らなくなってきました。
13. 2020 年に入ってからのお家禽の集団発生はゼロです。
14. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようですが)、今後の動向に注目必要ですね。
15. 但し、『2018-04-03 対家禽 H7N9 インフル強制ワクチンの接種実施 河南省』で書かれているように、H7N9 ワクチンを家禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれませんが。これもまた要ウォッチ事項だねと FluTrackers と話をしています。

⇒See [20230525H 中国衛生当局全国法定伝染病発症死亡統計 \(2023 年 4 月\)](#)

<https://china.huanqiu.com/article/4D2LVnelLf>

.....
National Bureau of Disease Control and Prevention: 2.1 million cases of notifiable infectious diseases were reported nationwide in April

World Wide Web china.huanqiu.com 2023-04-25 15:21 Source: National Bureau of CDC

On May 25, the National Bureau of Disease Control and Prevention released an overview of the national legal infectious disease epidemic situation in April 2023.

In April 2023 (0:00 on Apr. 1, 2023 to 24:00 on Apr. 30), the country (excluding Hong Kong, Macao Special Administrative Region and Taiwan, the same hereinafter) reported a total of **2,101,158** cases and **2,217** deaths.

Among them, No cases of Class A infectious diseases were reported; no death was reported.

There was no report of incidents and morbidity in SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), poliomyelitis, diphtheria, Human infection with highly pathogenic avian influenza and human infection with H7N9 avian influenza have no incidence and death reports; **Except for the novel coronavirus infection**, the remaining **21** kinds of Class B infectious diseases reported a total of **291,128** cases and **2,185** deaths. The top five reported cases were Viral

hepatitis, tuberculosis, syphilis, gonorrhea and Brucellosis; these five diseases account for 96% of the total number of reported cases of Class B infectious diseases.

COVID-19:

Miyamoto's notes; Please note that the field "COVID-19" has suddenly been deleted in this monthly report from December 2022 and NHC never touches COVID-19 in their monthly report.

In the same period, there was no incidence and morbidity report of filariasis in Class C infectious diseases, and 1,810,030 cases and 32 death cases were reported in the remaining 10 kinds of Class C infectious diseases. The top three reported cases were Influenza, Other infectious diarrhea, and hand, foot and mouth disease which accounts for 99.7% of the total number of reported cases of Class C infectious diseases.

..... 以下是中国語原文

国家疾控局：4月全国报告法定传染病210万例

环球网 china.huanqiu.com 2023-05-25 15:21 来源：北京日报客户端

5月25日，国家疾控局发布2023年4月全国法定传染病疫情概况。2023年4月1日0时至4月30日24时，全国（不含香港、澳门特别行政区和台湾地区）共报告法定传染病2101158例，死亡2217人。甲类传染病无发病、死亡病例报告。

乙类传染病中，传染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、白喉、人感染高致病性禽流感和人感染H7N9禽流感无发病、死亡病例报告；除新型冠状病毒感染外，其余21种乙类传染病共报告发病291128例、死亡2185人。报告发病数居前5位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病及布鲁氏菌病，占乙类传染病报告病例总数的96%。

同期，丙类传染病共报告发病1810030例，报告死亡32人。报告发病数居前3位的病种依次为流行性感冒、其他感染性腹泻病和手足口病，占丙类传染病报告病例总数的99.5%。

附件：2023年4月全国法定传染病报告发病、死亡统计表